

住友生命保険相互会社岐阜支社

岐阜市・保険業

平成30年度
認定

県内38支部のうち16人(42・1%)が女性支部長で、全国の支社の中でも積極的な女性管理職登用を行っている。女性管理職は転居を伴わない労働条件の職員が多く、男性管理職と力を合わせて地域に根差したサポートを行っている。

従業員数/男性56名 女性775名 計831名 ※平成30年8月現在

積極的に女性管理職を登用

女性管理職のスキルアップや育成に力を入れる。女性支部長を対象に、年一回開かれる研修会「夢空」は、人材育成や支部経営について話し合う貴重な機会となっている。管理職候補育成のために、岐阜支社では副支部長制度を導入。6人の女性副支部長が幹部会議などに出席し支部経営を学んでいる。岐



岐阜中支部の支部長として活躍する宮崎由里子さん。岐阜支社を代表する女性管理職として副支部長に支部経営の心構え等を伝え、次を担う人材の育成に努める。

阜中支部の宮崎由里子支部長は「営業職員からいきなり支部長になりしばらくは戸惑うことが多かった。副支部長制度ができたことで経営面の心構えを先行して学んでもらう良い機会となっている」と話す。

岐阜支社は職員数が多いことから専任のコンプライアンスオフィサー(法令順守責任者)を配置。専任者を置くのは全国で3支社だけで、岐阜支社のみ女性が担当。女性営業職員らがハラスメントで悩むことのないよう相談しやすい体制を整える。

時間外労働の削減に向けては、本社ルールより30分短い19時までで退社することを呼び掛け、事務職員は卓上に退社予定時間を記したカードを置き、常に時間を意識しながら業務を行っている。その結果、2018年の平均時間外労働時間は前年と比べて総合職で3.3時間、一般職



岐阜支社の専任コンプライアンスオフィサーの小野多美子さん。女性職員が相談しやすい気を配るとともに、ハラスメントに遭わないためのアドバイス等もしている。

で17時間の削減効果が上がっている。地域貢献にも注力しており25年前からスミセイ杯争奪県ソフトバレーボール大会を主催。学童保育支援「スミセイアフタープロジェクト」を4年間で18日開催し、陸上選手による走り方講座、ケーキ作り講座などを実施。児童虐待防止を呼び掛ける「岐阜オレンジリボンたすきりレー」にも協力している。